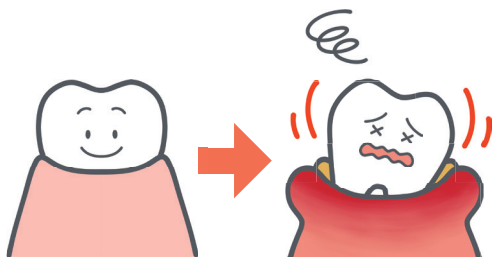


糖尿病と歯の喪失

歯周病とは歯周ポケット(歯と歯ぐきの境目の溝)で歯周病菌が炎症を引き起こし、歯ぐきや歯を支えている骨が壊される病気です。

歯を失う原因で最も多いのが歯周病です。特に65歳以上の糖尿病の方では歯周病が原因で抜歯に至った割合が55.0%であり、他の基礎疾患(高血圧、心疾患等)と比べ最も高い割合になっています。

(公益財団法人 8020推進財団 第2回永久歯の抜歯調査報告書 平成30年)



☑ 歯周病のセルフチェック

- 朝起きたときに、口の中がネバネバする
- 歯みがきのときに出血する
- 硬い物が噛みにくい
- 口臭が気になる
- 歯肉がときどき腫れる
- 歯肉が下がって、歯と歯の間にすきまができてきた
- 歯がグラグラする

ひとつでもチェックがある場合は、お口の中に問題がある可能性があります。

参考：厚生労働省e-ヘルスネット 歯周疾患の自覚症状とセルフチェック
執筆者 内藤 徹

歯周病も 糖尿病の合併症の一つです 医歯薬連携で糖尿病治療を サポートします



「糖尿病連携手帳」をお持ちの方は、医療機関を受診の際にご提示ください。ご不明な点は医師・歯科医師・薬剤師にご相談ください。

問い合わせ先



糖尿病治療を

受けている 患者さんへ

糖尿病と歯周病の 深い関係



三重県・三重県医師会・
三重県歯科医師会・三重県薬剤師会



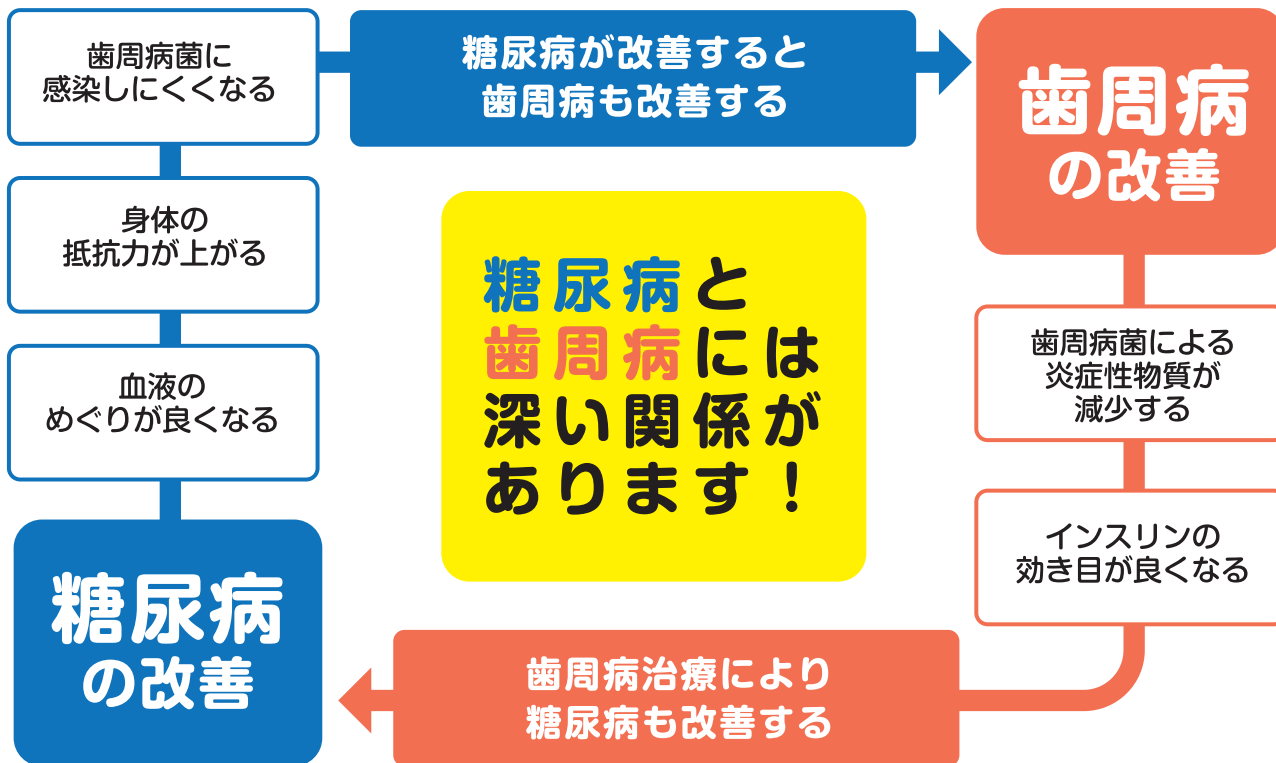
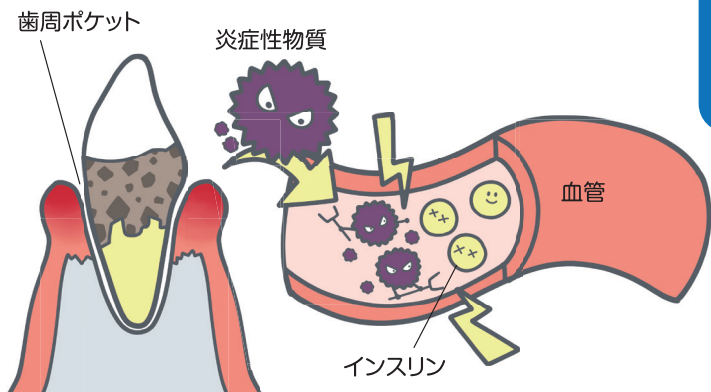
糖尿病と歯周病の関係



近年、適切な歯周病治療を受けることにより、糖尿病が改善するケースがあることが明らかになってきました。

歯周病が重症化すると、炎症によって作られる炎症性物質が、歯ぐきの毛細血管から体内に入り、インスリンの働きを妨げることがわかっています。これにより、血糖値が下がりづらく、血糖値の管理が困難になります。

そのため、かかりつけ歯科医での歯周病の治療、定期的な歯科受診と毎日の正しい口腔ケアで歯周病予防に努めましょう。



糖尿病も歯周病も生活習慣病で自覚症状は少なく、病気の進行がわかりにくいのが特徴です。医科と歯科の定期受診により、糖尿病と歯周病を並行して、継続した治療を受けましょう。